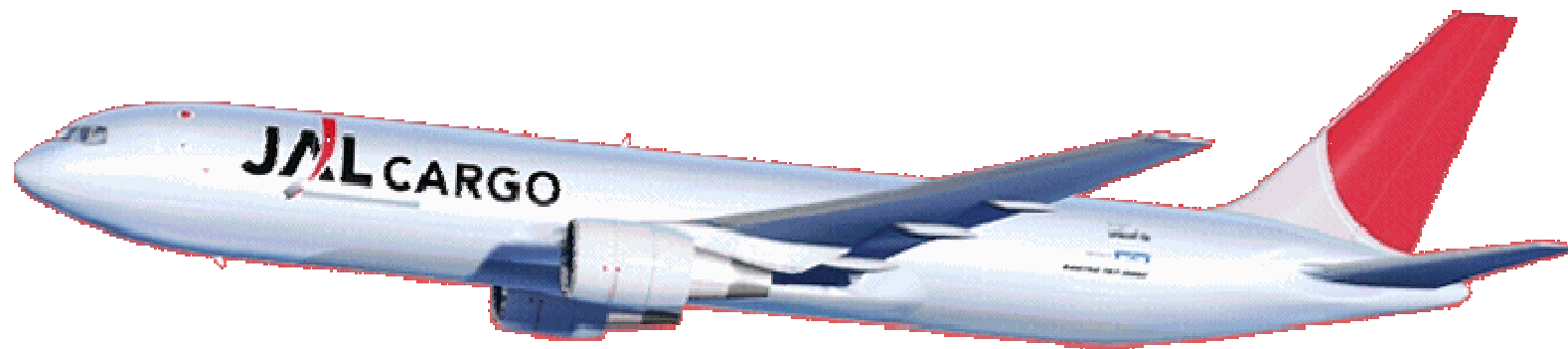


国際拠点空港等における 国際航空貨物の取扱いの現状について



2009年2月17日

株式会社日本航空インターナショナル

- ・創業 1951年8月1日(旧日本航空設立)
- ・代表者 代表取締役社長 西松 遥
- ・資本金 100,000,000,000円
- ・株主 (株)日本航空(100%)
(参考) (株)日本航空の発行株式数
普通株式 2,732,383,250株
A種株式 614,000,000株
- ・従業員数 16,671名 (2008年5月31日現在)
- ・支店・事業所数 104 (国内46、海外58)
- ・乗入国・地点数 34ヶ国・地域、216空港 (日本及び国内60空港含む)
- ・路線数(JALグループ便・コードシェア含む)
 - 国際線路線数 283 (旅客便246、貨物便37)
 - 国内線路線数 154
- ・航空機数 275 (所有機166、リース機109 2008年3月31日現在)

特に記載のあるもの以外は2008年6月25日現在のデータ

上屋ハンドリング業務(出発)



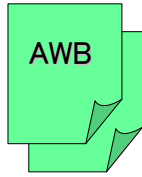
IATA貨物代理店
混載業者など

- ・予約
- ・輸出通関
(動・植検疫等)

- ・AWB発行
- ・関連書類

- ・梱包
- ・ラベル
- ・マーキング

Ready
for
Carriage



事務作業

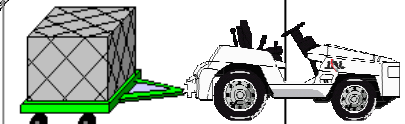
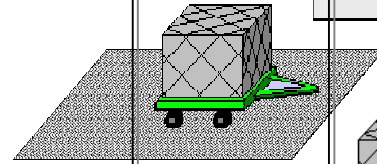
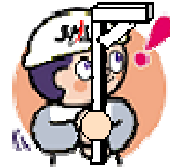
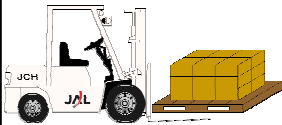
書類受付・審査 ⇒ 書類取扱(貨物マニフェスト作成・AWB・関係書類)



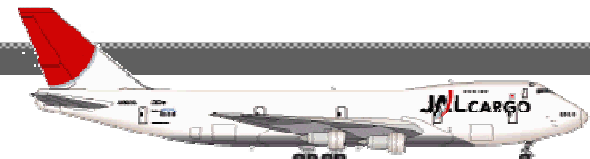
重量確認、貨物室の床面強度、搭載場所
・順位などの条件確認

搬入確認 ⇒ 積付指示 ⇒ 計量指示 ⇒ 搬出・引渡し指示

上屋作業



搬入チェック ⇒ ULD積付・形状確認 ⇒ 計量 ⇒ 搬出・引渡し



上屋ハンドリング業務(到着)

JALCARGO

事務作業

AWB受取⇒AWB仕分け⇒ 到着通知・運賃審査・AWB引渡し

AWB



荷受人・通関業者等による通関・動植検
疫完了後、引渡し要請(D/O)を受けて

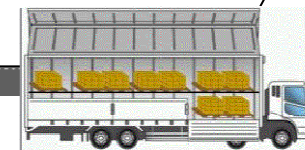


ULD・貨物取扱指示 ⇒ 蔵置・保管指示 ⇒ 搬出・引渡し指示

上屋作業

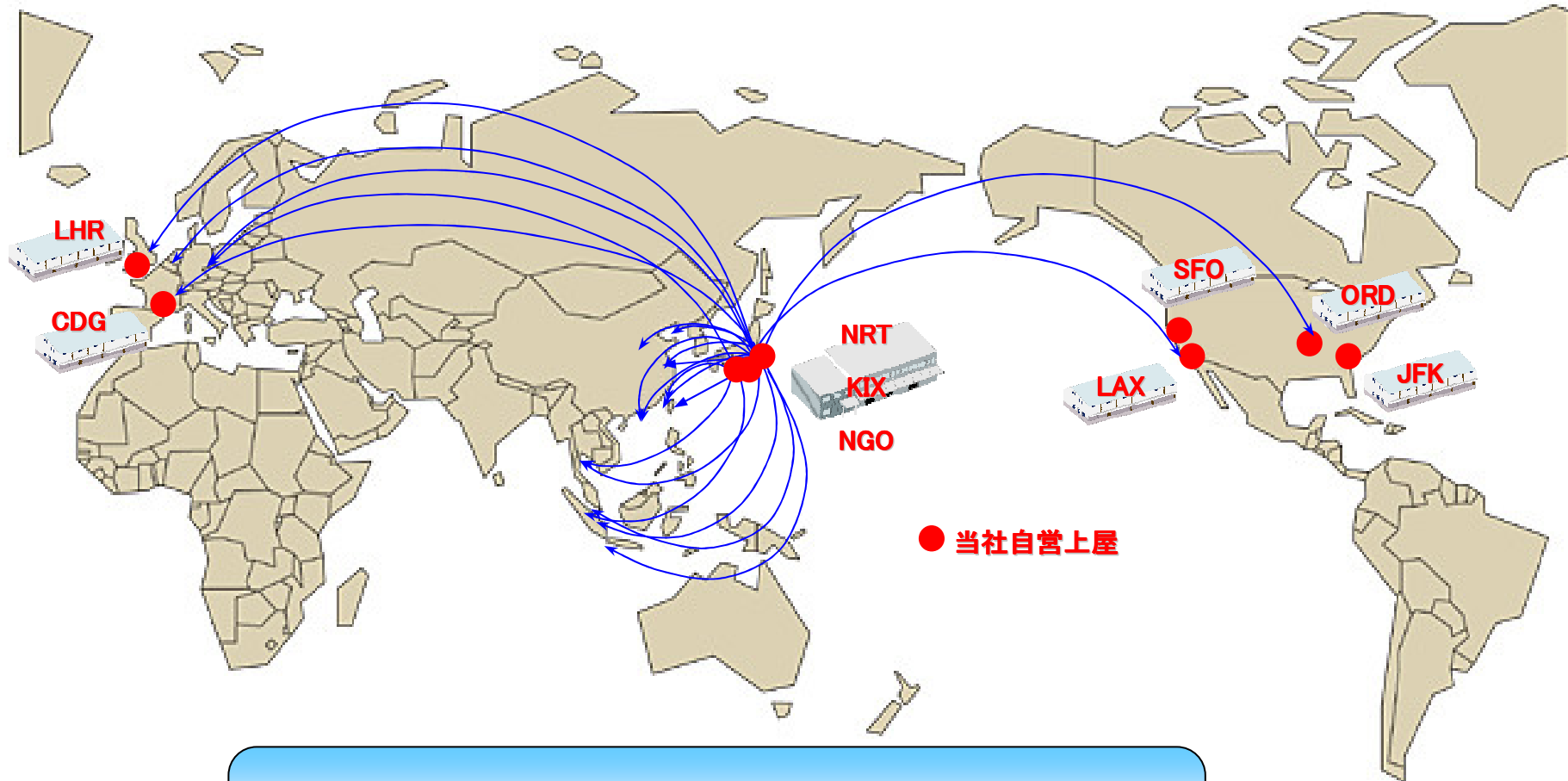
貨物受取 ⇒ ULD解体・貨物取卸し ⇒ 貨物蔵置・保管 ⇒ 搬出・引渡し
到着チェック・仕分け

貨物を荷受人等に引渡し



当社国際線貨物便ネットワーク

JALCARGO



当社国際線就航拠点数 : 48 (2009年1月1日現在)
当社自営上屋数 : 10 (HNDを含む)

メリット

- ・自社便の顧客ニーズ・販売戦略に応じて柔軟にサービスを提供できる。
- ・一定の物量を前提とすれば効率的な運用が可能。



デメリット

- ・固定費(上屋賃借料・設備維持費・人件費)がかかるため、昨今のような急激な需要減に迅速に対処できない。



委託作業料の設定方法

施設・設備の応需能力

上屋スペース、設備(計量機、保冷施設、貴重品保管庫) など

サービス

適切な保安管理体制、当社基準に見合う安全・品質管理体制 など

コスト

委託作業料金、その他(運送補助資材など)

上記条件を確認し、ビッド(競争入札)にて選定

当社委託社数： 83社(2008年10月1日現在)

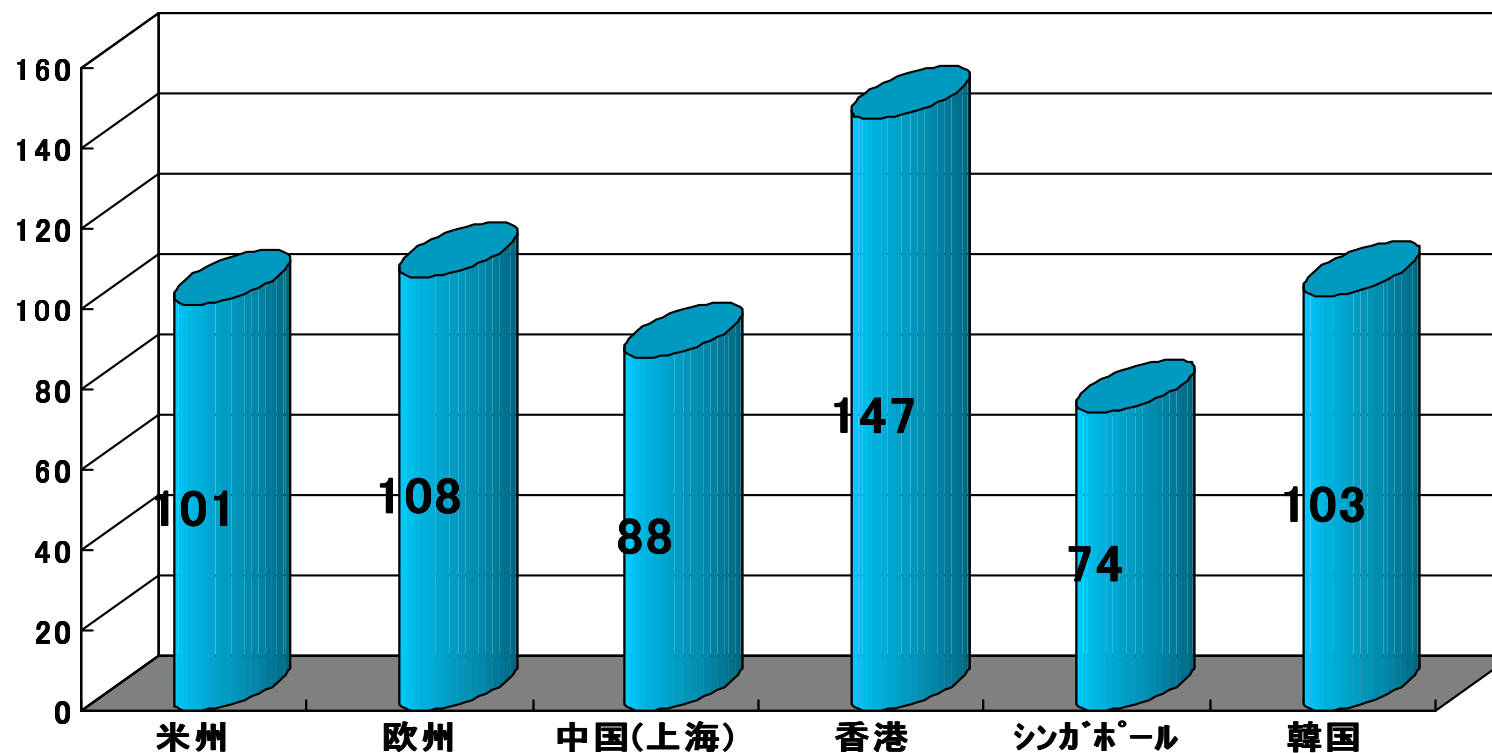
当社受託社数： 53社(2008年8月1日現在)

ハンドリング料金の国際比較(当社内)

JALCARGO

比較に用いた算出式＝グロスターミナルコスト＝ $\frac{\text{総費用}}{\text{取扱い貨物重量}}$

■ 日本を100として比較(06年度)



1ドル=100円、1ユーロ=126円にて円換算



ご清聴ありがとうございました